



KAWASAKI
MUNICIPALITY
HOSPITAL

町立病院だより



地方独立行政法人
川崎町立病院
内科医師
(内視鏡専門医)
赤星 和明

大腸がん

10人に1人は大腸がん

最近までコロナが話題を集めたこの頃ですが、受診控えもあってか現在急増している大腸がんについてお話しします。

近年、食の欧米化や高齢化などが原因で、日本を含めたアジア、南米、東欧で増加傾向にあり、今最も注目されているがんの1つです。日本人の場合、大腸がんは増え続けており、20年前から女性のがん腫別死亡原因1位となっています。男性でも令和3年、ついに胃がんを抜き死亡原因2位となりました。今では10人に1人は一生のうち一度は大腸がんにかかります。

放っておくとリスクが高まる

大腸腫瘍には段階があります。まず、大きさの小さい大腸腺腫が大腸ポリープ（きのこのような形）として大腸粘膜に発生します。放っておくと徐々に大きくなり、大きくなるにつれてポリープががん化するリスクが高くなります。そしてがんを含んだポリープとなり、さらに大きくなり大腸の壁に浸潤すると進行大腸がんとなるわけです。

死亡率53%も抑制

アメリカで行われた有名な大規模試験があり、2012年の最終報告では、大腸ポリープを定期的の内視鏡で切除した人と、全く治療しなかった人を最長23年間比べた場合、大腸がんによる死亡率を53%も抑制できたという結果がでました。こうした結果に基づき、日本でも、大腸内視鏡検査を受け、ポリープを切除することが大腸がん予防のうえで非常に重要だということが認識されています。

後悔する前に検査を受けましょう

大腸ポリープは内視鏡で安全・簡単に切除できます。当院では、小さなポリープ数個であれば外来で、多い場合や大きい場合は1泊2日で、内視鏡的大腸ポリープ切除術(*)を行っています。

40歳を過ぎれば4人に1人は大腸ポリープが見つかります。50歳を過ぎれば大腸がんの死亡率が加速します。進行がんで転移があると根治は困難です。もう少し早く見つかっていればと思うことのないように、40歳を過ぎたら一度は大腸内視鏡検査を受けることを検討してみましょう。



(※)費用

日帰り:約2万円～
入院:約4万円～

※3割負担の場合の目安金額。

詳しくは病院窓口へ
問い合わせください。